



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 秀章 TEL 06-6761-1131
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,111	15.6	371	99.6	387	93.5	279	79.0
2023年3月期第1四半期	2,691	10.5	185	11.4	200	15.1	156	17.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 636百万円 (261.5%) 2023年3月期第1四半期 175百万円 (197.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	68.44	—
2023年3月期第1四半期	38.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,799	11,865	70.6
2023年3月期	16,103	11,392	70.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,865百万円 2023年3月期 11,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		0.00	—	42.50	42.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,100	12.7	600	87.1	620	80.5	450	72.4	110.23
通期	11,500	1.2	500	△12.2	550	△11.8	500	1.6	122.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年8月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	4,150,000株	2023年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	67,822株	2023年3月期	67,762株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	4,082,210株	2023年3月期1Q	4,078,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、国内需要を中心に緩やかに回復しており、特に個人消費について、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復、インバウンド需要も水際対策の緩和や円安の影響で持ち直しの動きが続いています。しかしながら、原油高や原材料コストの上昇、加えて天候に影響される原材料の調達など、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

こうした経済状況をうけ、当社グループのヘルスケア事業は、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」や「目もとパックシート」「口もとパックシート」といった、かねてよりインバウンド需要が高い製品の売り上げが復調傾向にあります。特に「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズス菌配合の機能志向食品の分野において、26年連続売上No. 1を獲得し、今年度は発売から30周年の節目を迎えます。国内はもちろん、海外ではアジアを中心とした国や地域で現地代理店と連携をとりながら積極的なプロモーションを展開しております。引き続き、多くの皆様の健康に寄り添う製品をパーパス起点でお届けできるよう、広告・販促施策に注力し、顧客とのリレーションを深めてまいります。

機能性素材販売およびジェネリック医薬品の製造販売については、堅調に推移しております。機能性素材販売では、さらなる新規案件の獲得のため、ifia JAPAN 2023（国際食品素材/添加物展・会議）への出展、機能性素材の理解を促進するBtoB向け情報サイト（<https://www.solution.jintan.co.jp/>）をオープンするなど、新たな価値提供の支援体制を充実させております。ジェネリック医薬品の製造販売については、高脂血症用剤（一般名：オメガー3脂肪酸エチル）が2022年6月の販売から1年を迎えました。引き続き、ジェネリック医薬品を必要とされる方とご家族のQOL向上につながるよう、安定供給に努めてまいります。

カプセル受託事業は、可食分野においてフレーバーカプセルの販売が、産業用（非可食）分野においては化粧品に採用されたカプセルが引き続き、堅調です。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル（大腸送達性製剤）の研究・開発を継続しており、製品化を目指してまいります。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなカプセル開発に応用するサイクルを構築して、社会へソリューションの提案を続けてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,111百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益371百万円（前年同四半期比99.6%増）、経常利益387百万円（前年同四半期比93.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益279百万円（前年同四半期比79.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては前述のとおり、「ビフィーナ®」をはじめとしたインバウンド需要と親和性の高い製品が復調にあり、また現地代理店との連携によりアジア地域での売り上げも堅調に推移しております。

当セグメントにおきましては、売上高は、2,023百万円（前年同四半期比1.6%減）、セグメント損失は、一時的な在庫評価減による影響で11百万円（前年同四半期はセグメント利益49百万円）となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルを用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、1,086百万円（前年同四半期比71.1%増）、セグメント利益は、380百万円（前年同四半期比180.8%増）となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、1百万円（前年同四半期比97.7%増）、セグメント利益は、1百万円（前年同四半期比97.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が135百万円、原材料及び貯蔵品が135百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は9,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価により投資有価証券が518百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、16,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ695百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が116百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が163百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が356百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.6%（前連結会計年度末は70.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想については、本日(2023年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想については、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表した予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,409	2,107
受取手形及び売掛金	2,355	2,346
商品及び製品	764	848
仕掛品	735	871
原材料及び貯蔵品	740	875
その他	152	209
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	7,145	7,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,301	1,271
機械装置及び運搬具（純額）	908	980
土地	1,891	1,891
その他（純額）	360	413
有形固定資産合計	4,461	4,557
無形固定資産	353	337
投資その他の資産		
投資有価証券	4,077	4,595
その他	65	61
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,142	4,657
固定資産合計	8,957	9,552
資産合計	16,103	16,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,375	1,492
1年内返済予定の長期借入金	227	204
未払費用	473	404
未払法人税等	166	119
賞与引当金	207	278
その他	368	423
流動負債合計	2,818	2,922
固定負債		
長期借入金	242	202
繰延税金負債	971	1,134
退職給付に係る負債	658	653
その他	20	20
固定負債合計	1,892	2,011
負債合計	4,711	4,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	968	968
利益剰余金	5,172	5,288
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,563	9,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,826	2,183
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	1,828	2,185
純資産合計	11,392	11,865
負債純資産合計	16,103	16,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,691	3,111
売上原価	1,431	1,590
売上総利益	1,260	1,521
販売費及び一般管理費	1,074	1,150
営業利益	185	371
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	16
その他	3	0
営業外収益合計	14	17
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	200	387
税金等調整前四半期純利益	200	387
法人税、住民税及び事業税	75	104
法人税等調整額	△31	3
法人税等合計	44	108
四半期純利益	156	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	156	279

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	156	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	356
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	19	356
四半期包括利益	175	636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	636

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,056	634	2,690	0	2,691	—	2,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,056	634	2,690	0	2,691	—	2,691
セグメント利益	49	135	184	0	185	—	185

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,023	1,086	3,109	1	3,111	—	3,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,023	1,086	3,109	1	3,111	—	3,111
セグメント利益 又は損失(△)	△11	380	369	1	371	—	371

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。